

授業科目(ナンバリング)	介護過程 I (DD211)			担当教員	大町 いづみ			
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	選択	
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型	
<p>介護過程は、他の関連科目で学修した知識や技術を統合して、本人の望む生活の実現に向けて個々の利用者の状態や状況に応じ適切な支援を導き出し介護実践に活かしていく思考過程であり、個別ケアを具体的に実現する方法を身につけるために重要なものであることを理解していく。</p> <p>本授業は、本人の望む生活の実現に向けて、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を高めるために生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。</p> <p>本授業を受講することで、本学のディプロマポリシーでも示されている（介護福祉士としての）専門知識・技術を修得し、課題解決を図ることができるようになることもねらいとしたい。</p>							④⑤⑥ ⑦⑨	
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率		
専門力	<ul style="list-style-type: none"> 介護に必要な、情報収集項目を説明できる。 介護過程の流れや構成要素、留意点を説明できる。 介護過程が専門的知識・技術からなる介護実践の全体像であることを説明できる。 介護計画に必要な情報を抽出する方法を説明できる 				<ul style="list-style-type: none"> 事例検討 課題レポート 小テスト 	20%	10%	20%
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> 提供される事例から過不足なく情報を収集できる。 情報を分析できる。 				<ul style="list-style-type: none"> 課題レポート 	20%		
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> 事例をもとにしたワークの進捗状況について、定期的に整理し、実施後の評価をレポートできる。 				<ul style="list-style-type: none"> 振り返りレポート 	10%		
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> 事例をもとに利用者のニーズを把握し、課題解決に向け取り組むことができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 振り返りレポート 	20%		
多様性理解力								
出席					受験要件			
合計					100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明								
<ul style="list-style-type: none"> 事例検討 (20%) : 提供した事例 (架空) を整理し、課題解決に向けたプランニング等、ディスカッションへの参加度にて評価する。 課題レポート (30%) : 提供した事例 (架空) の情報の整理や課題抽出などをレポートにしてまとめたもので評価する。まとめたものについてはポートフォリオを活用し、相互閲覧等行う。事例検討時やディスカッション時に教員からはフィードバックを行う。 振り返りレポート (30%) : ディスカッションにてやりとりをして学んだことを振り返りレポートとしてまとめたもので評価する。提出されたレポート (ポートフォリオにて提出) へのコメントは個人にフィードバックする。 小テスト (20%) により、知識の確認を行う。 								
授業の概要								
<p>基本的な介護過程の意義、アセスメント、計画、実施、評価など介護過程の理論と方法について学ぶことが中心となる。</p> <p>また、事例や自分自身の身の回りの出来事や取り組みなどを適宜活用していく。個人ワーク、ペアワーク、グループワークを展開させ、ディスカッションを通じた情報を収集し整理する。作成した各自の介護過程の展開について発表し、ディスカッションすることも盛り込んだ授業を予定している。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>								
教科書・参考書								
<p>教科書：中央法規最新介護福祉士養成講座9「介護過程」(2022)</p> <p>参考書：授業時適宜紹介する</p> <p>指定図書：北田信一「目でみてわかる介護記録の書き方」成美堂出版</p>								

授業外における学修及び学生に期待すること

介護過程の展開では、利用者の生活を理解することが重要です。しかし、まず現在の自分自身がどのような生活を送っているのか(学内・学外)、一日をどのように過ごしているのか、どのように過ごしたいと願っているのか等を意識的に捉えるようにしてください。

グループでの事例検討も実施予定ですので、主体的な参加姿勢で授業に臨まれることを期待します。また、報告・連絡・相談を積極的に行えるようになることも期待しています。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	介護過程とは何か 介護過程の意義と基礎的理解①	オリエンテーション 介護過程の意義、目的・目標について学ぶ。	予：テキスト冒頭のまえがきを読む 復：配付資料の再読
2	介護過程の意義と基礎的理解② 情報収集の項目と方法	介護過程の全体像、生活支援における介護過程の必要性について考える。	予：テキスト「介護過程」の全体像について読んでおく 復：配付資料の再読
3	介護過程の意義と基礎的理解③ 情報収集の項目と方法	情報収集の方法と項目について学ぶ。課題事例を ICF の項目に沿って整理する。	予：ICF の項目について予習しておく 復：演習課題（レポート）を整理する
4	アセスメントと情報収集①	ICF を用いて情報を整理した課題事例についてグループで発表しあい課題を抽出する。	予：課題事例の読み込みと整理 復：配付資料の再読
5	アセスメントと情報収集②	ICF を用いて情報を整理した課題事例についてグループで発表しあい課題を抽出する。	予：ディスカッション準備 復：ディスカッションの振り返り
6	アセスメントと情報収集③	ICF を用いて情報を整理した課題事例についてグループで発表しあい課題を抽出する。	予：ディスカッション準備 復：ディスカッションの振り返り
7	アセスメントの実際① (解釈・関連づけ・統合化)	情報収集から情報を解釈、関連付け、統合化するプロセスを学ぶ	予：提供事例の読み込み 復：配付資料の再読
8	アセスメントの実際② (解釈・関連づけ・統合化)	アセスメントに基づき、生活課題を検討する。	予：ディスカッション準備 復：ディスカッションの振り返り
9	課題抽出と介護計画の立案①	個別ケア提供における介護計画の意義を理解する。介護計画の立案方法について理解する。	予：テキスト「介護計画」の部分を読んでくる 復：配付資料の再読
11	課題抽出と介護計画の立案②	事例に応じた介護計画を立案する方法を学ぶ。 (グループワーク)	予：提示事例について熟読しイメージしておく。 復：ディスカッションの振り返り
12	介護の実施と留意点・実施の記録方法①	実施における留意点について学び、実施の記録方法、内容について学ぶ。	予：テキスト「介護計画」の部分を読んできる 復：配付資料の再読
13	介護の実施と留意点・実施の記録方法②	実施の記録方法について演習を通して学ぶ	予：記録用紙を整理する 復：課題（レポート）を仕上げる
14	評価の意義と目的、内容と方法	個別ケアにおける評価方法と意義、チームでの把握方法、評価を踏まえた計画等の修正の必要性について学ぶ	予：テキスト「評価方法」を読んでくる 復：ディスカッションの振り返り
15	介護過程の実践的展開まとめ	自立に向けた介護過程の展開の実際についての学びを振り返る。	復：小テスト